

活動

孤立者の定義を行う ○○△

孤立者の実態調査を多面的な視点から行うために関係者をリスト化する。○△□◎◎

孤立者に配慮したアンケートの設計を行う。○○

提供するサービスの中で、孤立者に対して実態調査アンケートを行う。○○

行政担当者や同様の活動を行う団体と情報共有する場を設定する。○△△□◎◎

アンケートなどから得た孤立者の生活状況をカテゴライズし分析する。○○△

必要なスキルの検証 ○

スキル習得のための研修 ○□

孤立者の為の場(窓口)を整備する △

中間支援組織と意見交換を行い、必要なスキルやノウハウを整理する。○□◎

OJT形式で相談業務に携わる。□◎

助成金やクラウドファンドなどの情報を収集し、利活用を検討する。□□◎

収益性を意識した事業計画を設計する ◎◎

アウトプット

○孤立者の生活状況を把握する

○実行団体と関係者によって、制度等の問題点が顕在化する

○社会的孤立者が安心できる場づくりのために必要なスキルを実行団体が身に付ける

△孤立者や関係者の相互コミュニティが構築される場を整備し、運用の検証を行う。

△実行団体と関係者によって孤立者に対する効果的な支援策が設計される

□先進事例の情報収集やノウハウの蓄積を行う

□情報発信のためのチャンネルの開発と整備を行う

◎実行団体内のノウハウの蓄積と共有があり、団体の事業の効率や効果が向上する

◎事業の連携組織が増え、資金調達の可能性が高まる

◎他団体や他セクターと連携から、新たなモデル事業が生まれる。

■ = 資金的支援 ■ = 非資金的支援

短期アウトカム

実行団体の把握できていない孤立者を発掘するための、支援サービスの提供ができており、(支援サービスを受けていないまたは知らない) 孤立者を発掘する。(●)

実行団体が活動を継続していくための収益化に向けたビジネスモデルの構築やファンドレイズのプランニングができる(●◆)

実行団体の中間支援力の獲得を目指して、相談力・アドバイスカ、コーディネート力のスキルアップを行いネットワークを構築する。(●◆)

● = 資金的支援
◆ = 非資金的支援

中長期アウトカム

①社会の共助・互助の中で安心して生活を送ることができる場が整備されることで、社会的孤立が解消し孤立者が減少する。

②各分野の実行団体が関係者とネットワークを構築し、連携して団体支援を行うことで中間支援力が向上する。それにより孤立を減らすことを目的とした事業開発や組織基盤強化、政策提言等を行うようになっている。

③各実行団体は事業を進めつつ細かく業務をフレームに落とし込み、ノウハウをリスト化したものを作成し他団体の支援ニーズに対応出来るようにする。ノウハウを活用した事業アドバイスが収益事業となり、かつ支援を受けた団体が増加していくことにより県内の課題が減少していく。